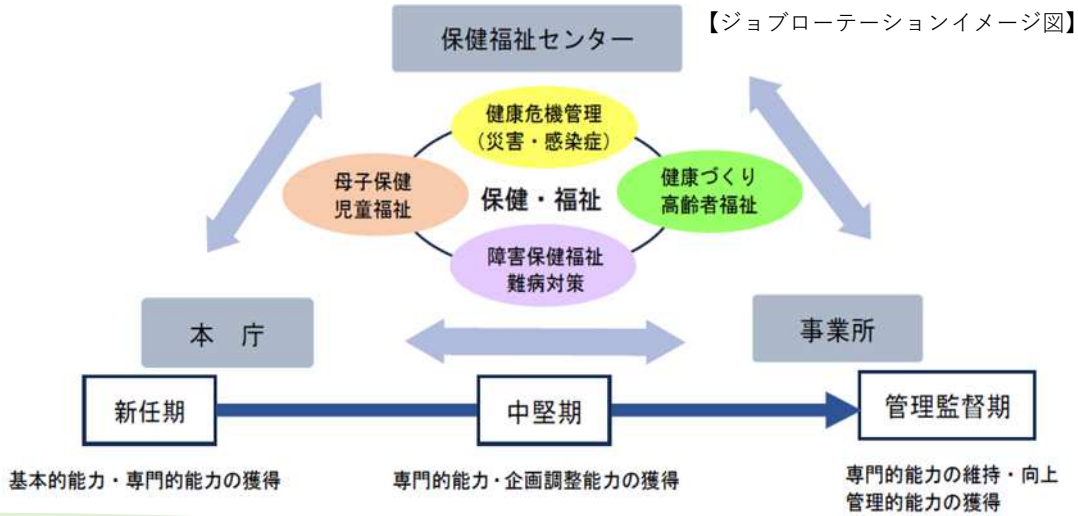
京都市保健師人材育成計画の概要

目指すべき保健師像	**全ての市民のいのちと健康を守るため、高い専門性と広い視野で地域を捉え、市民や関係機関と連携・協働し、包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまちの実現に向け、自律し行動できる保健師** ①市民に寄り添う支援の実践　②健康課題の把握と保健福祉施策の推進　③保健福祉施策・事業の企画立案と評価 ④多機関・多職種連携　⑤健康危機事案への対応　⑥専門性の向上と人材育成
管理監督期における目指すべき保健師像	**保健福祉施策を統括する組織運営を行い、市民の健康と福祉の向上や健康危機管理体制を推進するため、広い視野と専門的知識を持ち、持続可能な健康と福祉の基盤を構築するリーダーとして活躍する保健師**

【保健師人材育成の主な取組】

- **京都市保健師キャリアラダー・キャリアパスシート等の活用**
- **各区役所・支所統括保健師等によるキャリア面談**
- **ジョブローテーションを通じた人材育成**
- **研修等を通じた人材育成（階層別研修・派遣研修等）**
- **保健師独自のＯｆｆ－ＪＴ**
- **自己研鑽の奨励（自己研修・係長能力認定試験等）**
- **各職位における 責務・役割遂行**

【ジョブローテーションイメージ図】



京都市保健師に求められる役割

配属分野に関わらず、保健・医療・福祉の知識や対人援助、地域づくりの技術を活かし、これまで以上に分野横断的な視点を持って活躍し、地域とともに包括的な保健福祉活動を実践する。

＜保健師業務における現状や各分野で求められる役割＞

健康危機管理	母子保健・児童福祉	健康づくり・高齢者福祉	障害保健福祉・難病対策	本庁等企画部門
健康危機発生時に適切かつ迅速に対応できるよう、平時からの体制構築や人材育成等を行うとともに、感染症によるパンデミックや大規模災害等の健康危機発生時には、所属部署の枠を越えて、全ての保健師が共通の使命を持ち、率先して対応する。	プレコンセプションケアの推進や、妊娠期から子育て期に応じた相談支援を体系的に展開し、切れ目ない支援を母子保健・児童福祉双方の視点を持って一体的に実施する。	地域に根差した健康づくりの推進、高齢化に伴う介護予防、多様化・複雑化する世帯への課題解決に向けた取組を市民ともに推進する。	障害や難病に関する相談やサービス等の利用調整、普及啓発等を含むネットワーク活動の充実を図り、障害のある人もない人も、全ての人が支え合って暮らせる共生社会の実現を目指し、多様なニーズに対する支援を推進する。	市全体を俯瞰する幅広い視点を持ち、市全体の施策への反映や事業実施に向けた企画立案や予算確保を行い、本市の持続的な発展と市民の保健福祉の向上に取り組む。

キャリアレベルに応じた京都市保健師人材育成体系図

